

一 般 (個 人) 質 問 通 告 一 覧 表

令和 8 年 第 4 回 笠 岡 市 議 会 定 例 会

6 月 3 日 ・ 4 日 ・ 5 日 (3 日 間)

通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 村上 太志	1 子供を望む方と子育て家庭への切れ目ない支援について	<p>子供を望む方への寄り添った支援や、必要な情報につながりやすい体制を整えるとともに、近隣自治体と連携し、限られた資源を有効活用しながら、広域的な子育て支援を行うことは重要であると考え、以下、質問する。</p> <p>(1) 本市が令和 8 年 4 月から開始した不妊治療支援事業における制度の概要、周知方法、相談体制などの取組をどのように行っているか。また、県や他市町の動向を踏まえた今後の課題をどのように考えているか。</p> <p>(2) 令和 8 年 3 月に発足した、笠岡市・浅口市・里庄町の 2 市 1 町による子育て支援連携会議の現状、今後の協議予定、具体化に向けた課題への取組をどのように行っていくか。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p>
2 加藤 義久	1 「おかやまハレいろキャンペーン 2026」の取組について	<p>「おかやまハレいろキャンペーン」は、岡山県や県内市町村、観光関係団体、JR 西日本等の事業者が連携し、大型イベントがない中で、どうやって観光客を岡山県内に誘致するか、また「岡山デスティネーションキャンペーン」や「森の芸術祭晴れの国・岡山」の取組や成果を発展・継続させるために開催する全県的な観光キャンペーンです。本年は 9 月 5 日から 11 月 30 日まで「食」と「アート」をメインテーマとして、「おかやまハレいろキャンペーン 2026」が開催され、その主要な企画は、</p> <p>①「森の芸術祭」常設作品等のアート作品を巡る</p> <p>②岡山県特産のシャインマスカット狩り</p> <p>③笠岡諸島のグルメを堪能</p>	

	<p>2 ネーミング ライツ事業の 効果と今後の 取組について</p>	<p>④倉敷市水島地区工場群の夜景を満喫 ⑤津山市の衆樂園で地元の食文化を堪能 であり、本市への集客も大いに期待できます。 そこで、本市の取組についてお尋ねします。 (1) 本キャンペーンの成功に向け、(一社)笠 岡市観光協会と一体となって準備は進んで いますか。 (2) 具体的な企画内容は決まりましたか。 (3) 受入れ地として、現場も含めて環境整備 やおもてなしについて、いかに対応するの ですか。 本市では、新たな財源を確保し施設運営の安 定化を図るとともに、施設の魅力を高め、地域 の活性化を図ることを目的として、本年4月か ら市が所有する8施設にネーミングライツ(命 名権)を導入しています。その取組について、以 下、お尋ねします。 (1) 導入施設に対する市民の評判、効果はど うですか。 (2) 令和7年12月定例会の一般質問時に「継 続して取り組む」との回答を得ていますが、 その進捗状況はいかがですか。</p>	<p>関係部長 " " 関係部長 "</p>
<p>3 山本 聡</p>	<p>1 下水道のイン フラ整備に ついて</p> <p>2 まちづくり の進捗状況に</p>	<p>国の動向を踏まえた下水道のインフラ整備に ついて、以下、尋ねる。 (1) 下水道事業における市の基本的な考え方 について (2) 本市の下水道普及率について (3) 今後更新が見込まれる地域及び総延長数 (普及率)について (4) 市の浄化槽変更の個別判断基準について (5) 漁業集落排水施設の使用料金の今後の見 込みについて (1) まちなみづくり支援事業において、空き 家等除却支援の進捗について</p>	<p>市 長 関係部長 " " 市 長</p>

	<p>について</p> <p>3 企業誘致について</p>	<p>(2) 共同住宅建設支援事業の進捗について</p> <p>(3) 市内空き家の入居率向上に向けた対策について</p> <p>(4) 物価高騰対策における住宅リフォーム助成金の利用状況について</p> <p>即効性のある経済効果の観点から、課題である土地の確保を含め、中小企業の誘致などを促進する施策について、以下、尋ねる。</p> <p>(1) 流通面での地理的メリットについて</p> <p>(2) 税制面での優遇措置の考え方について</p> <p>(3) 上場企業のサテライト的事業所の誘致の可能性について</p> <p>(4) 休校、廃校跡地の利活用の働きかけについて</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市長</p>
4 井木 守	<p>1 県立高校の再編計画について</p> <p>2 笠岡市中小企業・小規模企業振興基本条例の具体化</p>	<p>(1) 県立高校再編の議論に本市はどのように関わっているのでしょうか。また、責任者はどなたでしょうか。</p> <p>(2) 「地域資源の活用」「新しい普通科」などがうたわれていますが、具体的にはどのようなことか、本市の見解をお尋ねします。</p> <p>(3) 「笠岡高校と笠岡商業高校の敷地を一体的に活用して」とありますが、笠岡工業高校の跡地利用について、本市の見解をお尋ねします。</p> <p>(4) 本市として、県教委任せにせず、市民的な議論を行い、提言等に取り組む必要があるのではないのでしょうか。また、そのための市民会議のようなものをつくる必要があるのではないのでしょうか、本市の見解をお尋ねします。</p> <p>(1) これまで本市は、「産業振興ビジョン」に基づく施策を進めるので、条例制定は必要はないとしてきましたが、今回、条例制定を行ったのは、どのような環境変化でその</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市長</p>

	<p>について</p>	<p>必要性を認めるに至ったか、改めてお尋ねします。</p> <p>(2) 「産業振興ビジョン」に基づき、様々な中小企業・小規模事業者の振興策に取り組んできたと思いますが、それぞれの施策の目標達成や成果をどのように判断していますか。</p> <p>(3) 条例と「産業振興ビジョン」との相互関係はどうなるのでしょうか。条例は、基本理念やそれぞれの役割の基本を示し、「振興ビジョン」は具体化という理解でよいのでしょうか。</p> <p>(4) 条例とともに、下請け企業等に適正化契約を保障する公契約条例の制定をセットで考えるべきだと思いますが、本市の見解をお尋ねします。</p> <p>(5) 小規模事業者の振興を考えるときに、「仕事おこし」も必要ですが、市民生活や地域に密着した、道路や施設整備などを積極的に進める考えはありますか。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
<p>3 市独自の物価高騰対策について</p>		<p>(1) 本市として、市内の中小事業者への物価高騰の影響等について調査を行っていますか。</p> <p>(2) 国においても補正予算編成の動きがあるようですが、本市として国に対して、物価高騰対策等の直接支援の予算編成を求めるべきではないかと考えますが、本市の見解をお尋ねします。</p> <p>(3) 市民生活への直接的な支援は、現状では、商品券事業しかありませんが、今夏は例年に増して猛暑になると言われており、高齢者世帯を中心に電気代等の補助を行う必要があるのではないかと考えますが、本市の見解をお尋ねします。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

<p>5 藪田 誠二郎</p>	<p>1 道の駅笠岡 ベイファーム 再整備事業に ついて</p>	<p>(1) 現在 3,620 万円の予算を投じて公募手続きを進めている「道の駅笠岡ベイファームのリニューアルに伴う事業化検討及び民間活力導入可能性調査等業務」に関し、国道 2 号バイパス開通という重要な局面を控えた現在の市の再整備に向けた基本方針及び事業スケジュールについてお尋ねします。</p> <p>(2) 昨年、深夜の駐車場における迷惑行為が多発したトラブルを受け、深夜の全消灯等の緊急対策が講じられましたが、その後の治安及び苦情等の推移と現在の状況について伺います。</p> <p>また、令和 8 年度の国道 2 号バイパス全線開通に伴い、夜間の利用需要や大型車両の流入が急増すると予想される中、現在進められているリニューアル事業において、これら深夜の迷惑行為を根本的に解決し、安心・安全な環境を確保するためのハード・ソフト両面における防犯・管理体制の構築策について、本市の見解をお尋ねします。</p> <p>(3) 道の駅は、本来の休憩機能にとどまらず、地域交流や観光振興の要として多大な役割を果たしています。近年は深刻化する自然災害への備えとして、地域の「防災拠点」としての役割も強く期待されています。市民の安心・安全を守るための防災拠点としての機能について、市の方針と見解をお尋ねします。</p> <p>(4) 「笠岡の総意・想い」を結集した再整備事業と地域経済への還元のため、単なる行政主導の施設整備にとどまらず、地元の農漁業者や商工事業者、市民、そして全国の笠岡にゆかりのある方たちが、一体感を持つ</p>	<p>市 長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>市 長</p>
-----------------	--	---	--

		<p>てこの一大プロジェクトを推進するために、本市としてどのような住民参画の場や施策を展開していくのか、その具体策と見解を伺います。</p>	
6 真鍋 陽子	<p>1 笠岡市における地域データ活用と広域情報連携について</p>	<p>(1) 本市は「情報」を地域インフラの一つとして捉えているのか。「地域内で情報を循環させる」ことにより「地域課題を可視化する」「市民参加を促進する」「地域経済につなげる」という視点を、自治体運営においてどの程度重視しているのか尋ねます。</p> <p>(2) 備後圏域連携中枢都市圏，高梁川流域連携中枢都市圏など広域連携が行われている中で、「防災情報」「公共交通」「観光」「子育て支援」「教育資源」「地域イベント」などの情報を、圏域で共有，循環させる仕組みづくりについて、本市では研究・検討が行われているのかを尋ねます。</p> <p>(3) 自治体オープンデータは「公開すること」が目的化しがちですが、重要なのは「地域で活用されること」です。笠岡市民を始めとして地元の子育て，園，学校，地域企業，大学，病院や療育園，他にも様々な個人や団体が地域データを活用できる環境づくりについて、どのように考えているのかを尋ねます。</p> <p>(4) 地域の情報が地域で共有され，地域住民が地域課題を知り，参加し，対話できる環境を整えることは，今後の地方自治において大変重要と考えていますが，本市として，デジタル技術を活用した市民参加や情報共有の在り方について，どのような方向性を持っているのかを尋ねます。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
	<p>2 次期学習指導要領と地域</p>	<p>(1) 次期学習指導要領における自治体の役割や裁量拡大について，どのように認識して</p>	<p>教育長</p>

<p>に開かれた学びの改革について</p>	<p>いるのかを尋ねます。</p> <p>(2) 学校改革，カリキュラム改革は働き方改革とセットであり，まずは働き方改革を行うことが大切だと考えていますが，本市における学校の働き方改革の現状について尋ねます。</p> <p>(3) 県立高校再編について，どのような認識を持っておられますか。また，本市の将来にとって，高校教育をどのような存在として位置づけているのかを尋ねます。</p> <p>(4) 地域資源を生かした新たな学びへの関与について 次期学習指導要領では，地域と連携した探究的な学びや，情報活用能力の育成がさらに重視されると考えていますが，本市として，「地域課題」「行政データ」「地域産業」「防災」「福祉」「観光」「環境」などを，高校教育の学びへどのようにつなげていこうと考えていますか。また，県教育委員会や高校側へ，どのような提案を行っていく考えなのかを尋ねます。</p> <p>(5) 今後の教育においては，学校だけで完結するのではなく，地域全体を学びの場として捉えるという現在の視点が，より重要になると考えます。その中で，「地元企業」「大学」「福祉分野」「地域活動団体」「DX人材」「若者団体」など，多様な主体と連携した学びの環境づくりについて，本市としてどのように取り組む考えかを尋ねます。</p> <p>(6) 今回の再編を契機に，新たな高校が，地域に開かれた「学び直し」の拠点となる可能性もあるのではないかと考えており，多様な人々が学べる環境づくりは，今後ますます重要になると考えますが，夜間中学が持つ「誰一人取り残さない学び」の理念のよう</p>	<p>いるのかを尋ねます。</p> <p>(2) 学校改革，カリキュラム改革は働き方改革とセットであり，まずは働き方改革を行うことが大切だと考えていますが，本市における学校の働き方改革の現状について尋ねます。</p> <p>(3) 県立高校再編について，どのような認識を持っておられますか。また，本市の将来にとって，高校教育をどのような存在として位置づけているのかを尋ねます。</p> <p>(4) 地域資源を生かした新たな学びへの関与について 次期学習指導要領では，地域と連携した探究的な学びや，情報活用能力の育成がさらに重視されると考えていますが，本市として，「地域課題」「行政データ」「地域産業」「防災」「福祉」「観光」「環境」などを，高校教育の学びへどのようにつなげていこうと考えていますか。また，県教育委員会や高校側へ，どのような提案を行っていく考えなのかを尋ねます。</p> <p>(5) 今後の教育においては，学校だけで完結するのではなく，地域全体を学びの場として捉えるという現在の視点が，より重要になると考えます。その中で，「地元企業」「大学」「福祉分野」「地域活動団体」「DX人材」「若者団体」など，多様な主体と連携した学びの環境づくりについて，本市としてどのように取り組む考えかを尋ねます。</p> <p>(6) 今回の再編を契機に，新たな高校が，地域に開かれた「学び直し」の拠点となる可能性もあるのではないかと考えており，多様な人々が学べる環境づくりは，今後ますます重要になると考えますが，夜間中学が持つ「誰一人取り残さない学び」の理念のよう</p>	<p>教育長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
-----------------------	--	--	---

	<p>3 住宅リフォーム支援と市民生活に寄り添った制度改善について</p>	<p>に、新たな高校についても、地域に開かれた、多様な学びを包摂する場となれる可能性について、本市としてどのように考えているのかを尋ねます。</p> <p>(1) 現在、住宅資材や人件費の高騰により、リフォーム費用は数年前と比べ大幅に上昇していますが、住宅リフォーム助成制度について、近隣自治体との比較検証や、これまでの助成額引き上げの経緯、今後の検討状況について尋ねます。</p> <p>(2) 本制度では、市内業者による施工が条件となっていますが、大手ハウスメーカーで住宅を建築された市民から、「地元業者でリフォームするとメーカー保証が切れるため、制度を利用できない」との相談が寄せられています。市民にとっては「保証を失うか、助成を諦めるか」の二択となっている実態がありますが、本市として、こうした住宅メーカー保証との整合性について実態把握を行っているのか、今後、柔軟な制度運用を検討する考えはあるのかを尋ねます。</p> <p>(3) 現在、塀などの外構工事は原則対象外ですが、市民からは、「老朽化した塀は倒壊の危険がある」「防災・安全対策として必要」「見た目だけでなく生活の安全に直結している」との声があります。特に近年は地震・豪雨等の自然災害も頻発しており、危険ブロック塀対策や防災型外構改修は、市民の生命・財産を守る観点からも重要ですが、本市として、外構・塀工事について、防災・減災の観点から対象拡大を検討する考えはあるのかを尋ねます。</p> <p>(4) 制度開始から十数年が経過する中で、社</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>市長</p>
--	---------------------------------------	--	---

		<p>会情勢や住宅事情が大きく変化している中で、市民の声を踏まえた制度見直しを行うという考えについて、市の見解を尋ねます。</p>	
7 守屋 基範	<p>1 臭気対策について</p> <p>2 マルナカ閉店に伴う今後の対応について</p> <p>3 市内公立高校の再編について</p>	<p>昨年1年間の臭気対策関連事業を検証し、その効果と今後の取組についてお尋ねします。</p> <p>(1) 令和8年4月末のマルナカ閉店に伴い、周辺住民、特に笠岡諸島へ暮らす住民にとっては著しく不便を感じています。中心市街地の大型スーパー閉店後のまちづくり等についても大いに関心が寄せられています。今後、市として対応する考えはあるのか、お尋ねします。</p> <p>(2) 本市における買い物難民等の対応として、公共交通の再編を検討するお考えはありますか。(マルナカ閉店後は番町地区への商業施設の集中等が著しく、笠岡駅から番町商業施設を意識した公共交通再編が期待されている。)</p> <p>(3) フェリー便のない島(高島・真鍋島・大飛島・小飛島・六島)において、清笠丸へ移動販売車を積み込んでの移動販売の社会実験を実施し、高齢者の買い物サポートの仕組みづくりを行うお考えはありますか。</p> <p>令和8年4月11日に市内公立高校の再編計画の中間報告説明会及びワークショップが行われましたが、それを受けて、今後の本市の姿勢についてお尋ねします。</p> <p>(1) 今回の高校再編の中間報告を受けての本市の受け止めと今後の市としての対応についてお尋ねします。</p> <p>(2) 粛々と県主導で進められている感があります。今回の説明会やワークショップへの住民の関心度が低いように感じましたが、市としてはどう受け止めていますか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>市長</p> <p>関係部長</p>

		<p>(3) 高校へのヒアリングを行う中で、探求型の授業を組み込むためには地域と学校をつなぐコーディネーター的な外部人材が必要との声があります。各高校連携や小中高一貫の探求の推進には本市の積極的な後押しが必要と思いますが、お考えをお伺いします。</p>	関係部長
	4 小規模多機能自治元年の取組について	<p>(1) 令和8年3月定例会において、今年度は小規模多機能自治元年という表現がされていましたが、その意気込みと今後の対応についてお尋ねします。</p> <p>(2) 小規模多機能自治推進のための基本方針が先日策定されたようですが、その策定経緯・策定メンバー等についてお尋ねします。</p> <p>(3) 今後、小規模多機能自治ガイドラインを庁内連携会議において協議され、6月頃にはガイドライン案を報告予定と報告されていましたが、どのようなガイドラインを作る計画で庁内連携会議ではどこの部署がどのような協議をされているのかお尋ねします。</p> <p>(4) 現在、各地区で実施されているまちづくり協議会の活動の課題については、どのような認識をされているのでしょうか。</p> <p>本市として、それぞれの協議会の課題解決をどのように進めようとお考えなのか、お尋ねします。</p> <p>(5) 今後、まちづくりを進める地域人材の育成を並行して行う必要があると考えますが、本市のお考えをお尋ねします。</p>	<p>市長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p>
8 齋藤 一信	1 国営笠岡湾干拓事業負担金に係る債権管理について	<p>(1) 今回の監査結果では、「決裁済み」とされながら正式な決裁文書が確認できない事案、同一案件に関する複数の方向決裁文書が存在する事案が指摘されております。行</p>	市長

		<p>政実務において、決裁文書は行政意思形成の根幹であり、極めて重要なものであります。本市として今回の監査指摘をどのように受け止めているのか、また今後、決裁手続、文書保存、電子決裁、決裁履歴管理をどのように見直し、再発防止を図るのか伺います。</p> <p>(2) 今回の監査結果では、「生活困窮」を理由とした徴収停止等の判断について、その判断過程や根拠資料の不十分さが指摘されております。特に、どのような基準で生活困窮と判断したのか、市民から見えにくい状況であったことは、市政への信頼にも関わる問題であると考えます。今後、本市として、所得、資産、支払能力、他債務状況、財産調査などを含め、「生活困窮」の判断基準をどのように明確化するのか、また、時の市長や特定の職員の裁量に依存しない組織的審査体制をどのように構築するのか伺います。</p> <p>(3) 今回の監査結果では、執行停止や不納欠損に関する判断について、法的解釈や内部手続面での課題が指摘されております。不納欠損は、市民の大切な債権を事実上放棄する重大な行政判断であり、極めて慎重な運用が求められるものと考えますが、今後、執行停止、徴収猶予、不納欠損の判断について、どのような法的確認、内部協議、外部専門家との連携、チェック体制を構築し、適正な債権管理を進めていくのか、市の方針を伺います。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>市長</p>
	<p>2 笠岡湾干拓地臭気問題について</p>	<p>本市では「笠岡湾干拓地臭気対策ロードマップ」を策定し、現在、臭気モニター制度や臭気報告アプリ「K A B A R」、臭気センサー設置など、</p>	<p>市長</p>

	<p>3 所有者不明 土地問題につ いて</p>	<p>様々な取組を進めております。一方で、市民の皆様からは依然として臭気に関する声も寄せられており、「臭気の原因そのものをどう減らすのか」という声も多く聞かれており、特に、牛舎環境や堆肥処理過程における臭気低減は、根本的対策として重要であると考えます。</p> <p>現在進めているロードマップについて、臭気発生状況、苦情件数、臭気データ、季節変動などを踏まえ、現時点でどの程度の改善効果を認識しているのか、また、今後、ロードマップをどのように検証・見直ししていくのか伺います。</p> <p>あわせて、本市として今後、臭気発生源そのものを低減する方策について、どのような協力・支援・働きかけを進めていくのか伺います。</p> <p>(1) 相続土地国庫帰属制度について、厳しい要件や費用負担により利用が進みにくい状況がある中、本市における所有者不明土地や相続未登記土地について、空き家・山林・農地を含め、どの程度実態把握を行っているのか伺います。</p> <p>(2) 将来的な公共性、防災・空き家対策等の観点から、所有者不明土地の整理支援を含めた総合的な対策を進める考えはあるか伺います。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>
--	----------------------------------	--	--------------------